

修正可決後予算における財源調整内容

①財源調整前の歳入・歳出総額

	要求額
歳入	24,301,265
歳出	24,553,751
差引	△ 252,486

②財源調整案

調整項目	調整案	備考
特別交付税	43,102	特交計上 843,102千円 (21年度現計予算額 909,251千円)
基金繰入額	209,384	20年度決算における財源調整のための基金取り崩しは、477,771千円 なお、臨時的な収入として、星美台分譲宅地売払収入が 115,908千円あった。 21年度予算(12月補正時点)での財源調整のための基金取り崩しは、813,168千円 なお、現時点での臨時的な収入は、星美台分譲宅地売払収入が41,114千円である。
計	252,486	

③積立基金調整の内容

	H20末現在高 (A)	3月補正時点 取崩予定額 (B)	3月補正時点 積立・利子予定額 (C)	H21末残高見込 (A)-(B)+(C)= (D)
財政調整基金	1,240,286	120,000	201,036	1,321,322
市立病院改築基金	50,076	50,138	62	0
育英事業基金	65,035	6,500	90	58,625
職員退職手当基金	0	0	0	0
炭住改良基金	497,100	124,000	698	373,798
公共施設整備基金	100,007	0	86	100,093
公共施設管理基金	100,130	0	107	100,237
減債基金	517,787	0	111,838	629,625
計	2,570,421	300,638	313,917	2,583,700

基金の
見直しにより
⇒

	H22当初 残高見込 (E)	H22当初時点 取崩予定額 (F)	H22当初時点 積立・利子予定額 (G)	H22末残高見込 (E)-(F)+(G)= (H)	H22取崩可能額	基金充当可能な範囲
財政調整基金	1,521,652	209,384	1,075	1,313,343	1,313,343	制限なし(取崩可能額は残高と同額)
減債基金	629,625	0	111,521	741,146	741,146	公債費の範囲内
【財源調整用基金計】	2,151,277	209,384	112,596	2,054,489	2,054,489	
市営住宅基金	373,798	75,000	616	299,414	75,000	市営住宅管理に要する経費(公債費含む)から住宅使用料等を差し引いた額の範囲内
育英事業基金	58,625	8,642	58	50,041	8,000	育英資金貸付事業費から毎年の貸付金元利収入を引いた残額を限度に取り崩し可
【事業充当基金計】	432,423	83,642	674	349,455	83,000	
総計	2,583,700	293,026	113,270	2,403,944	2,137,489	